

自然保護委員会お便り 2023・初秋号



夏の終わり、丹沢の山は秋の気配。4人パーティで歩きました。9月24日。野菊の花畑を歩いてきました。シロヨメナかな。美化活動、ごみも拾いました。丹沢山直下の天王寺尾根、静かな登山道。枯れた大木に、カミキリムシの痕跡。なら枯れかな？奥山域にも、なら枯れの浸食あり。青空を見上げると、こんもりとしたあの森林は、ブナ林でしょうか。

【環境登山パート2 秋の活動】10月22日(日)予定 29日(予備日)

『実生種』と『丹沢のブナ』を植えます。わくわく♥



二ノ塔、三ノ塔に、登山すると、スギの整備林の他にも多くの木々が見えます。

自然保護委員会は、四季折々に登山をしています。5月、もみじの花が咲き、秋は種がヘリコプターの羽のようにクルクルと舞い落ちてゆきます。秋、カツラの木の木漏れ日は美しく光が射しこみ、輝きながら見えました。三の塔の登山道脇に、コナラのドングリの実たちが落ちていました。冬、松ぼっくりがいっぱい落ちてました。種は、あちらこちらに。。林床植生や、シカの食害など観察しましょう。5年ほど前、ヤマトタケルの足跡周辺は、シカのフンでいっぱいでした。ここ、一、二年は、少し減ったように見えます。足元をよく観てみ

ましょう。二の塔・三の塔で観た草木：アザミ、センブリ、ゲンノショウコ、フタリスズカ、シロヨメナ、ウマノアシガタ、ヤマドリソウ、エイザンスミレ、リンドウ、ミツバツツジ、山ツツジ、タツナミソウ、ホタルブクロ、ウメバチソウ 動物の痕跡：シカのフン、草木を食べた痕跡、いのししの爪痕 昆虫：アザミが登山道わきに群生。そこにはアサギマダラなど蝶、赤とんぼ。虫の音が聞こえる。

私たちは、今期、2年にわたり、二ノ塔周辺に、食害に強い木（ミツマタ）、高い木、低い木、針葉樹、広葉樹を植えてみました。ミツマタ、スギ、モミ、ニシキウツギ、ヤマボウシ、山桜。新しい試みです。

今回は、『丹沢のブナ』を植えます。一緒にいろんなドングリ、山栗、松ぼっくりを植えます。『実』は本来、動物や鳥が運びます。少しお手伝いをしましょう。



自然に強い混交林の森林を、思い描いています。

自然に強いとは、自然災害に強い森林です。大雨が降っても、土砂流れしない森、倒木しない木々です。神奈川岳連・自然保護委員会では、10年間、二の塔、三の塔の裸地化した荒廃地にケヤマハンノキを主に植樹してきました。新しく植えた木との混交林。これからはこの森の育ちを、観てゆきたいとおもいます。針葉樹、広葉樹、低木が育ちあう明るい林床にかわいらしい草木を探したいですね。斜面で頑張ってる咲くフジアザミ(希少種)を崖地に見ました。私たちは活動してくれる仲間を募集しています。いっしょに木を植え、森林づくりをしましょう。

◆自然保護委員会の活動◆

- ✚ 環境登山 表丹沢・二の塔・三の塔周辺に、植樹活動。保育観察。丹沢の森林探訪・登山 主に奥山域活動
- ✚ 大山イタツミ尾根・岳の台登山道ボランティア活動
- ✚ 秦野市・ふれあい森林づくり活動(仮称) 里山域活動 蓑毛バス停から林道をあがり浅間神社が活動地です。

2023 初秋号 編集後記：夏の暑さが長引いたり、急に寒かったりの10月です。地球の温暖化現象でしょうか。丹沢の木々や、動物はどうしているでしょう。小枝の葉や、花々を揺らして風は通り過ぎてゆきます。風は、どこに吹いていくのでしょうか？

お問合せ先：shizen@kanagawa-gakuren.gr.jp 編集・伊藤篤子

自然保護委員会の情報はこちらからも。 [自然保護委員会の報告 - 神奈川県山岳連盟 \(kanagawa-gakuren.gr.jp\)](http://kanagawa-gakuren.gr.jp)